

どうぶつと夢に向かっている道

空と風と大地のがっこう

尾崎 郁子さん

父から受け継いだ動物愛

ふくろうを飼うことになったのは、動物を愛していた父の影響です。幼いころから父と一緒にさまざまな動物と触れ合う機会に恵まれました。現在は、フクロウをはじめ、うさぎ、カメ、カメレオン、トカゲ、ねこといっしょに暮しています。

すべてが繋がっている

我が家にいるふくろうや、名古屋コーチンが食べている食物はすべて畑でつくられたものです。また、動物のフンを畑に肥料として与えています。秋に東部地域やってみようプロジェクトの地産地消プラットフォームの企画で桃陵中学校情報部といっしょにひきずり鍋をつくった時にも、残った調理くず



いろいろ工夫しながらさまざまな作物を栽培



名古屋コーチン 成鳥になるのも間近



自然保護活動家
風と空と大地のがっこう
として活動
地域のこどもたちやフリースクールで動物とのふれあい活動を通して、自然保護の活動にとりくんでいる

を動物たちに餌として与えました。そのほか、普段は、人間が食べられない卵の殻なども与えています。このように、私たち人間の営みは動物たちの命につながっています。逆に人間がまいた農薬などに汚染された草などを食べた動物は命を失ってしまうこともあります。お金は大事です、たくさんは必要ありません。無駄をなくして、じょうずにまわっていくことが大切だと思います。

自然の大切さを伝えたい

今は、自然の大切さについて、多くの人に伝えたいと考え、【風と空と大地のがっこう】という名前で動物たちと食育、環境、心の癒しの活動をしています。フリースクールや地域のイベントなど、ふくろうや名古屋コーチンなどの動物を連れて参加しています。

(撮 影) 桃陵中学校情報部
(取材・文) 桃陵中学校情報部